

間違いだらけの医療費節約

受診のしかたで 医療費は減らせる!



適正受診は日本の医療を守る!?

大病院の外来に軽症の患者が集中したり、急を要しない軽症で救急外来を受診する人が増えると、本当に緊急度の高い患者の受け入れが難しくなります。また、現場が疲弊したりして医療の質や安全性が低下する恐れもあります。

わたしたちにできることは?

●かかりつけ医をもつ

身近な診療所やクリニックで、気軽に相談できるかかりつけ医を決めましょう。必要に応じて専門医や大病院も紹介してもらえます。

※地域医師会のホームページ、厚生労働省「医療情報ネット(ナビ)」で検索できます。

●夜間や休日の相談先を調べておく

夜間や休日に受診するかどうか迷ったら、まずは電話相談やホームページなどを利用してみましょう。

【大人】#7119 【子ども】#8000

こども <https://kodomo-qq.jp>
の救急 ※公益社団法人 日本小児科学会

いざという
ときのために
確認して
おこう!

ります。
薬の重複など身体的なリスクも大きくなります。

● **紹介料がないと特別料金**
紹介状なしで大病院を受診すると初診で7,000円(歯科で5,000円)以上の特別料金がかります。

● **はしご受診は医療費がかさむ**

初診料、検査料、薬代などが病院ごとにかかるだけではなく、検査のやり直しや

● **時間外・休日・深夜は割増料金**
緊急性がないのに、「平日に行く時間がないから」「夜間の方が空いているから」などといった理由で時間外受診していませんか? また、「子どもの医療費は無料だから」と、安易に救急外来等を利用していませんか? 6歳未満の子どもは大人よりも高額な割増料金がプラスされ、実際にかかった医療費の7〜8割はわたしたちの保険料から支払われています。

● **紹介料がないと特別料金**

紹介状なしで大病院を受診すると初診で7,000円(歯科で5,000円)以上の特別料金がかります。

それでもジェネリックは不安という人は

●お試し調剤をしてみる

短期間だけジェネリックを処方してもらい、体調や副作用等を確認できます。万が一、薬が合わない場合は元に戻すこともできます。

●オーソライズドジェネリック(AG)を希望する

先発医薬品メーカーから権利の許諾を受けて、先発品と同じ原薬、添加物、製造法等で製造されるジェネリックです。

こんな病院へのかかり方は、
お金がかかる

こんな薬のもらい方は、
お金がかかる